

今月の不動産経済 (平成28年8月)

● 不動産業の動向

不動産業景気動向指数 (DI) ^{*1}	47.3 p	前月比 △ 0.5 p	▼
不動産業の倒産状況 ^{*1}	20 件	前年同月比 33.3 %	▲
負債総額 ^{*1}	15,707 百万円	△ 44.6 %	▼

● 新設住宅着工数

新設住宅着工・総数 ^{*2}	82,242 戸	前年同月比 2.5 %	▲
持家	26,341 戸	4.3 %	▲
貸家	36,784 戸	9.9 %	▲
分譲	18,509 戸	△ 12.7 %	▼
内マンション	6,815 戸	△ 33.1 %	▼

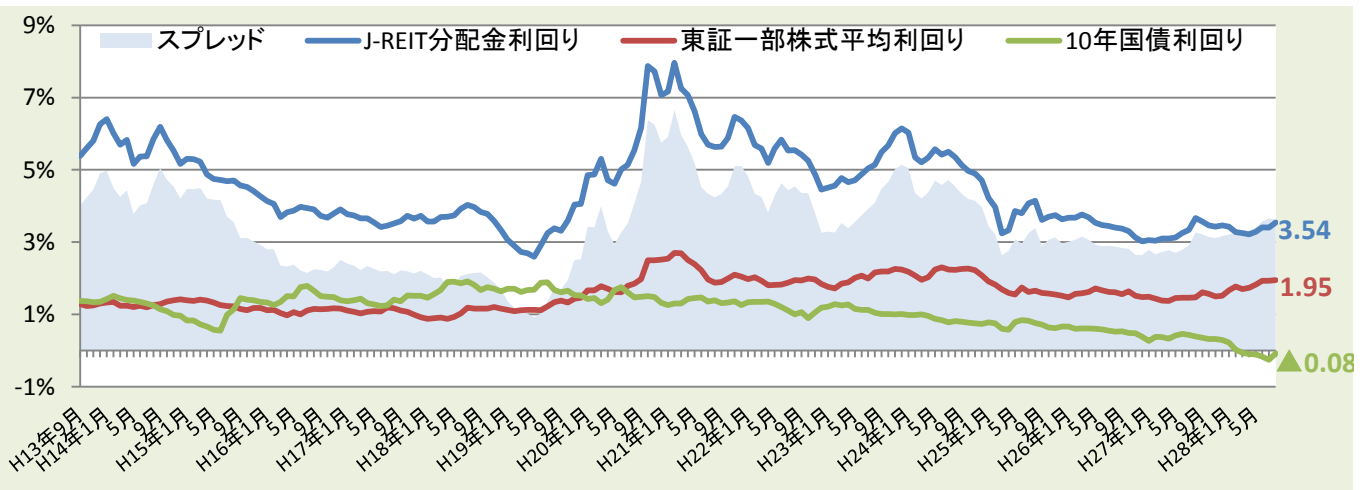
● マンション市場の動向

新築・供給戸数 (首都圏) ^{*3}	1,966 戸	前年同月比 △ 24.7 %	▼
[契約率]	[66.6%]	△ 7.7 p	▼
新築・供給戸数 (近畿圏) ^{*3}	1,238 戸	27.8 %	▲
[契約率]	[73.8%]	△ 5.6 p	▼
中古・成約件数 (首都圏) ^{*4}	2,402 戸	△ 0.8 %	▼
平均価格	3,009 万円	6.3 %	▲
[㎡単価]	[47.7万円]	6.4 %	▲
中古・成約件数 (近畿圏) ^{*4}	1,218 戸	4.6 %	▲
平均価格	1,992 万円	3.1 %	▲
[㎡単価]	[28.8万円]	3.2 %	▲
居住用賃貸物件成約数 (首都圏) ^{*5}	14,271 件	△ 10.8 %	▼

● オフィス市場の動向

オフィス賃料指数 (都心3区・平成28年4~6月) ^{*6}	77 p	前年同期比 (賃料) / 前月比 (空室率) 4.3 %	▲
オフィス空室率 (都心5区) ^{*7}	3.9 %	△ 0.04 p	▼

● J-REIT分配金利回り ^{*8}



不動産業の業況感は前月比 0.5p悪化し 47.3pとなった。30ヶ月連続で判断の分かれ目の50を下回った。

新設住宅着工数は、2ヶ月連続で前年同月比増。

首都圏の新築マンション供給戸数は、前年同月比 24.7%減。9ヶ月連続で前年同月比減。契約率は、同 7.7pダウンの 66.6%。

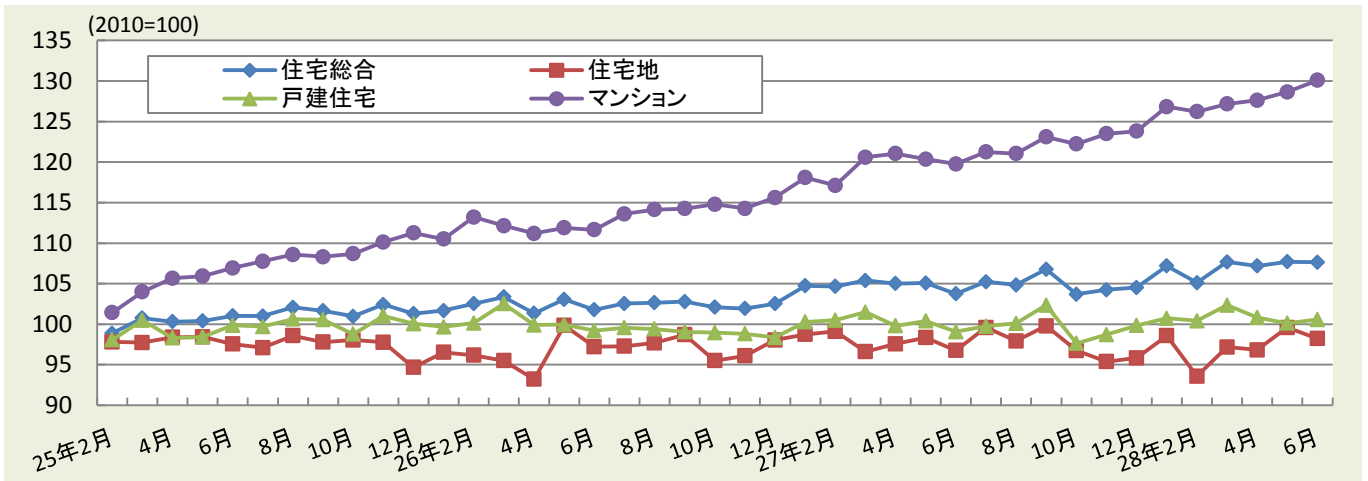
近畿圏の新築マンション供給戸数は、同 27.8%増。2ヶ月連続で前年同月比増。契約率は、同 5.6pダウンの 73.8%。

首都圏の中古マンション成約件数は 2ヶ月ぶりに前年同月比減。

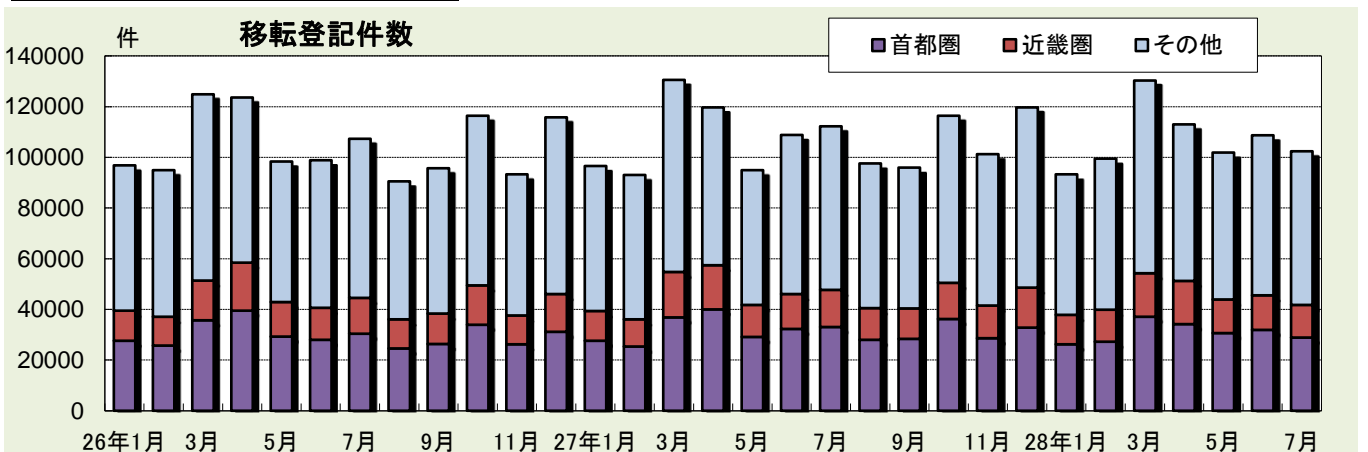
近畿圏は 4ヶ月ぶりに前年同月比増。

都心5区のオフィス空室率は、2ヶ月連続で前月比低下。

● 不動産価格指数（中古住宅）^{*2}



● 売買による土地所有権移転状況^{*9}



*1 帝国データバンク（DIは0～100、50が判断の分かれ目）

*2 国土交通省

*3 不動産経済研究所

*4 不動産流通機構

*5 アットホーム

*6 三幸エステート：1994年第1四半期=100

*7 三鬼商事

*8 不動産証券化協会、東京証券取引所、財務省（スプレッド = J-RIET分配金利回り - 10年国債金利回り）

*9 法務省

[今月の不動産経済](#)

[時系列データ \(excel\) ダウンロード](#)